

情報公開文書書式

研究課題名	摂食嚥下障害を有する回復期脳卒中患者におけるサルコペニアと摂食嚥下機能回復の関連性の検討
所属部署	長崎リハビリテーション病院 栄養管理室
研究責任者(職名)	西岡心大 (室長)
研究期間	承認日 ~ 2022年 3月 31日
研究目的と意義	サルコペニアの摂食嚥下障害 (sarcopenic dysphagia) は全身および嚥下関連筋のサルコペニアによって生じる摂食嚥下障害であり、高齢者における嚥下障害の要因のひとつとして注目を集めています。現在提案されている診断基準においては、脳卒中など摂食嚥下障害の原因疾患を認める場合は診断フローから除外されますが、一部の脳卒中患者においてはサルコペニアの存在が摂食嚥下機能の予後に影響している可能性がある。しかし、回復期脳卒中患者におけるサルコペニアが摂食嚥下機能回復に与える影響を検証した研究は今のところ報告されていません。本研究はサルコペニアを合併した脳卒中患者様において、嚥下障害の予後に差が生じるかを検証することを目的としています。
研究内容	<p>●対象となる患者様</p> <p>2018年11月~2020年10月に、当院で入院加療された脳卒中後の患者様。</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>身長・体重・年齢・性別・入院期間などのカルテ情報、体組成分析、握力、栄養状態、ADL、摂食嚥下機能、口腔機能など入院期間に測定した各種のデータを利用します。 ※本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
	<p>●研究方法</p> <p>当院および浜松市リハビリテーション病院、わかさ竜間リハビリテーション病院の3病院における共同研究です。上記情報を電子カルテより収集し、個人が特定できないように匿名化したのち入院時に評価したサルコペニアの判定結果を基にサルコペニア群、非サルコペニア群に分類します。各群間で退院時摂食嚥下機能などを比較します。</p>
問い合わせ先	<p>所属：一般社団法人是真会 臨床研究開発部 (PACS) 西岡・高橋</p> <p>住所：長崎市銀屋町4-11</p> <p>電話：095 (818) 2002</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>